

BCP

Business Continuity Plan

事業継続計画 取組企業様インタビュー

災害などが生じた時
業務中断に伴うリスクを最低限にするために
平時から事業継続について戦略的に準備しておく計画を
実施している企業にお話を伺います

株式会社 暁興産 様

三重郡川越町大字当新田 623 番地

事業内容：燃料油製品輸送、アスファルト輸送、一般貨物輸送、営業倉庫、自動車整備等

TEL：059-364-2022 FAX：059-364-2230 HP <http://www.akatsuki.biz/>



インタビュアー

田中 大補

(有)クローバ総合保険事務所 代表取締役



ご協力頂いた方

- 朝熊 時章様 (左の方) 総務部部長
- 伊藤 公一様 (右の方) 営業部



株式会社 暁興産
代表取締役 伊藤 康彦 氏

田中 BCPに取り組んだ
きっかけをお教えてください。

伊藤様 もちろん2011年の東日本大震災の影響もありますが、3年ほど前から当社所在地である川越地区が沿岸部である事、また大きな河川に挟まれている事(員弁川、朝明川)等、地震だけでなく風水害の危険性も感じ、自社でも取り組まなくてはと強く感じたことがきっかけです。

2年前からは、毎年5月に開催する経営方針発表に、初めてBCP 関連も揃え、全社員に向けて意識付けを行いました。

田中 BCPで最初に取り組んだ事と、
その際に心がけたことは。

伊藤様 まずは、全社員に名刺サイズで会社関係連絡先と家族関係連絡先のカードを配布、また、備蓄品と災害マニュアルを独自で作成し、配布しました。その際、心がけたことは、「やれることからやろう」です。一度に完璧を求めるのではなく、今出来ることは何なのか考え、一つ一つ検証しながらやっています。

また、管理者とドライバーの意識レベルの違いが



制作風景

BCPミーティング

ありますので、可能な限り、ハードルを下げて現場の声を聞くように心がけています。

田中 避難訓練の定期開催において
工夫されていることは。

朝熊様 関連会社の川越ガスと共に、合同で避難訓練を毎年二回実地しています。
大地震を想定した避難訓練や、導線や点呼の確認、また近くの大きな施設に実際に歩いて、時間等を計っています。定期開催は、従業員の意識付けと実際に起きた時に行動できる様にする為です。



田中 社員さんの意識変化を
お教えてください。

伊藤様 始めた当初に比べて、意識付けがされているのが実感できます。
「ここはもっとこうした方がいいのでは？」という声も、徐々にではありますが現場から聞こえるようになりました。



田中 訓練や備蓄等の準備以外で
最近取り組まれたことは何ですか。

伊藤様 今までメインサーバーが1Fにあったのですが、最近多い台風によるゲリラ豪雨から、水害が心配になり、今年メインサーバーを3Fに移しました。これにより、万が一1Fが水浸しになっても、基幹システムが止まることはありません。

田中 御社は普段から社員さん同士の関係の
質がとても高く感じますが、
理由がわかれば教えてください。

朝熊様 弊社のTOP(社長：伊藤康彦)の影響もあるかと思えます。熱意があればまずはやらせてみる。

例えばエラーしても、トライ&エラーを繰り返すことで検証にもなる。次に活かせる。また、若手ドライバーに対しても先輩ドライバーたちが嫌な顔せず丁寧に教えている。そんな社風が、会長(伊藤平治郎)時代から脈々と引き継がれているのだと思います。

田中 これから取り組もうとしている
中小企業の方に向けて
メッセージをお願いします。

伊藤様 弊社もまだまだこれからです。ただBCPは終わりが無いモノです。
初めから完璧は無理で、身の丈に合わせて、まずは明日から出来るものを取り組んでいけばいいのではないのでしょうか。



<終わりに>

インタビュアー：田中大補

暁興産様に訪問させて頂く度に感じるのは、社員さんの「感じの良さ」と「温かさ」。これは一朝一夕で築かれたものではなく、創業45年間脈々と築かれたもの。
有事の際、果たして社員が丸になれるかどうか。それは、日頃から「関係の質」を高く保つ事にかかってくるのではないのでしょうか。

高額なシステムを構築したからと言って、日頃からお互いがいがみ合っている、有事の際に協力関係が保たれるわけがなく、設備は復旧したが社員がすべて去ってしまったとなりがねません。暁興産様が常に心がけている、平時の際から社員を家族の様に思い、また取引先や初めて訪れる訪問者に至るまで気持ちよく接する。当たり前のように感じますが、これこそがBCPを始める前にまず取り組むべき事なのかもしれません。

各地で起こる大地震、大型台風による風水害、今年猛威を振った大雪、災害大国日本において、東海地方もいつ何時何が起こるかわかりません。

まず、出来ることから始め、訓練等を繰り返し検証することで、見直していく。
家族である社員の生活を守る為、どんなことが起きても事業を継続させる、そんなメッセージを今回強く受けました。

インタビューに協力いただきました、総務部部長の朝熊時章様と営業部の伊藤公一様に心より感謝申し上げます。今後ますますBCPがバージョンアップされていく事を願っております。